



9

実測図と復元平面図

西洋館が建築される際に描かれた設計図はまだ発見されていません。現況の実測図や過去の写真、資料などから推測される復元平面図を紹介します。

実測図

『竹内農場赤レンガ西洋館の平面図等作成及び保存にかかる調査報告書』P16には実測調査の記録が掲載されています。建物が崩壊して長い年月が経過しているために、建物内部に樹木が何本も大きく成長しています。

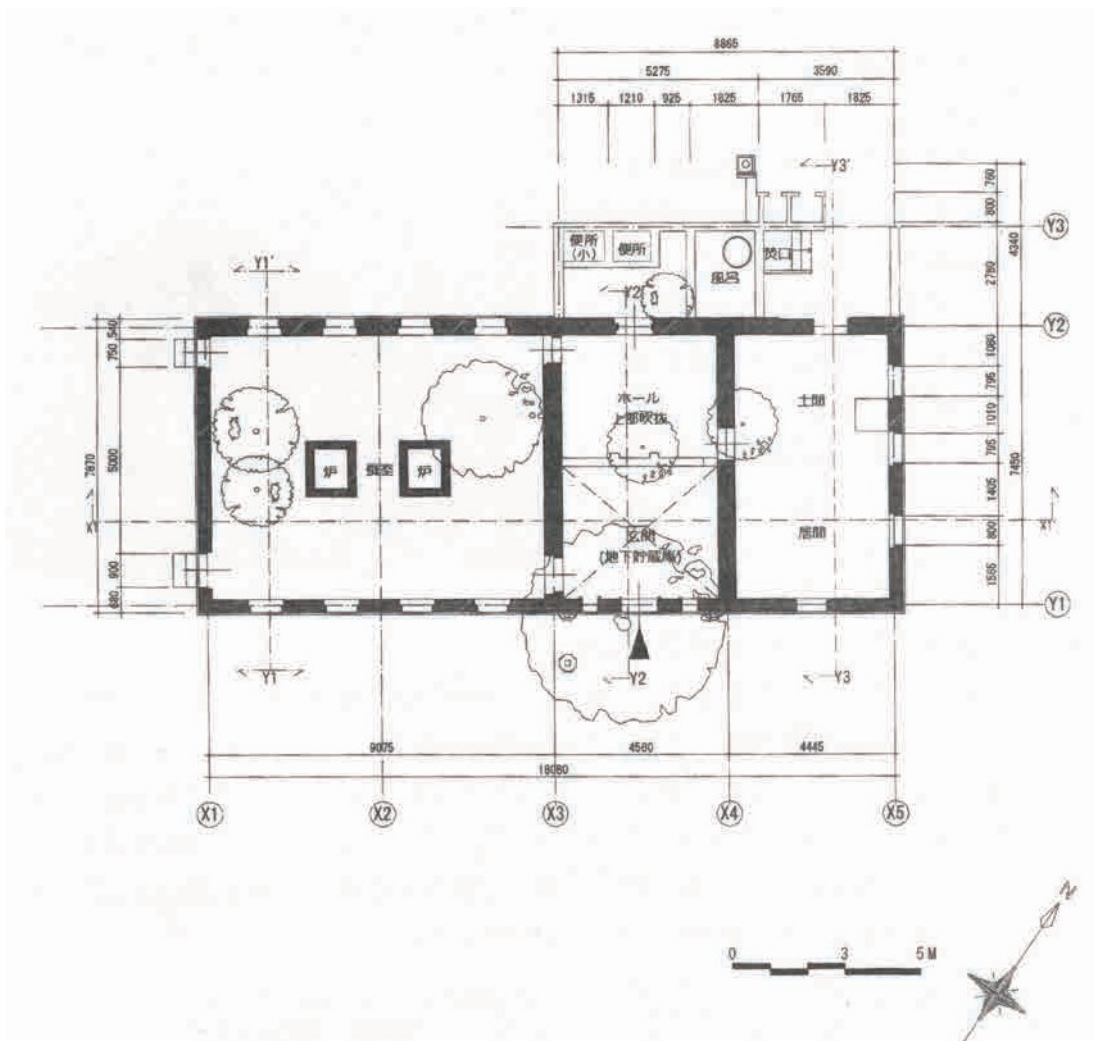


図1 実測調査の記録（『竹内農場赤レンガ西洋館の平面図作成及び保存にかかる調査報告書』より引用）

部屋割り

正面入り口を入ると、内玄関（タタキ）があり、ホールに上がると奥には北側下屋の便所（小）、便所、風呂（円形）があります。ホールの東側には土間（レンガ製の^{かまど}竈がある）と居間があります。ホールの西側に廊下があり、蚕室1、蚕室2があり、蚕室には炉が置かれています。ホールの階段を上ると中廊下があり、内玄関の上には居室1、東側には廊下を挟んで居室2、居室3があります。玄関の下には地下室がありますが用途は不明です。（前掲書、P21～23）

部屋の名前は昭和14（1939）年の竹内家の関係者による報告書を参照しています。蚕室が建築当初からあったものなのか、高価なレンガ造の建物の内部に蚕室を設けたのかは、冊子委員会の中で議論がありました。しかし、大正8（1919）年の建築時の請求書の中に「竹内農場地区別宅及び蚕室建設費」の記載があります。

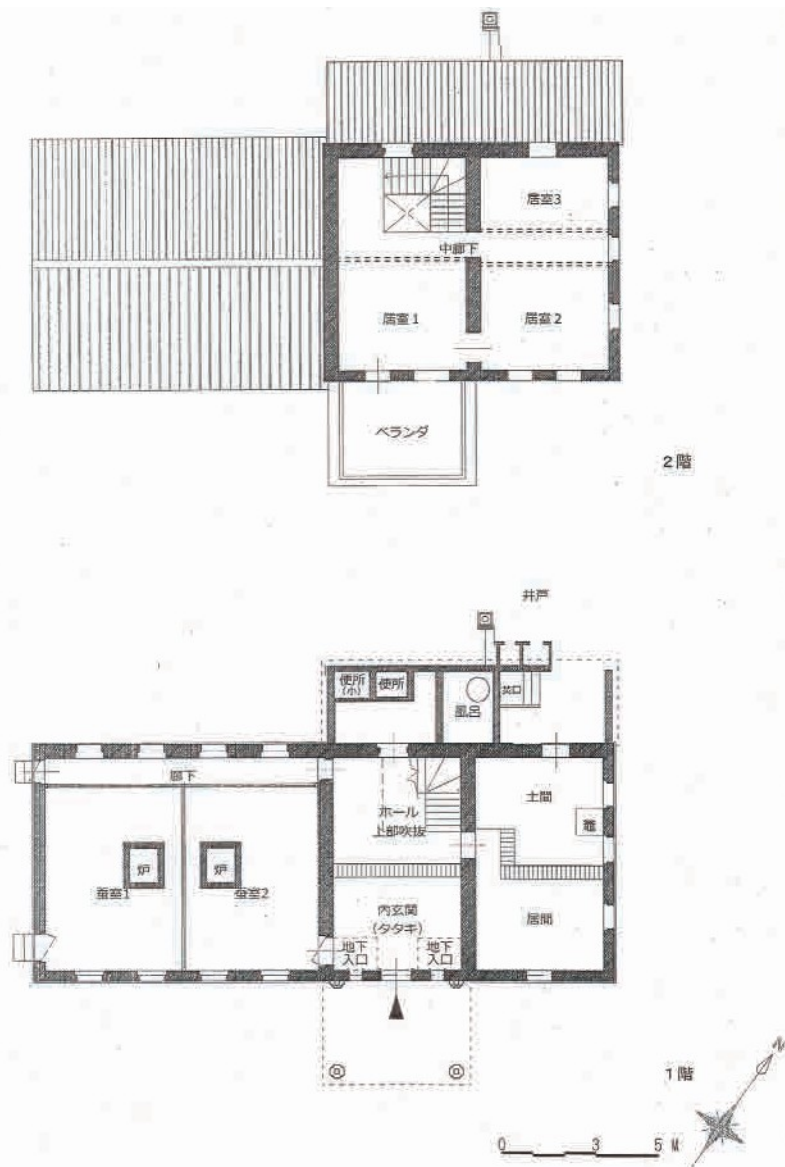


図2 復元平面図（『竹内農場赤レンガ西洋館の平面図作成及び保存にかかる調査報告書』より引用）